一般行賞 (監)

関軍山長 | 5田 正美|

軍需生産を増强

際生産を増加せんがためには、

調辨の合理化具體方策指示

軍會計監督官ら招集

具體方策の内容

事業經營の計畫性

榮譽爾々殊勳甲

植松大佐以下三千五百二柱

第卅五回 事變論功行賞

武勳水



興農行

頼辰、既に土地改良事業の促進 な、私義があるし、有消農業への

た、また梅重部隊は、閩安

ソ官制上の機關とする

的山

英靈に御親拜 けふ臨時大祭第一

長暗惑の職式自動車鹵彌にて、給び御手水、御修蔵の御後、節度は、天皇医下には百部音能、長の御光夢にて畝所に恵ませ

カ四地三 航中佐 人構 死 者 小調 死 者 地方佐 地の中級 地方佐 地の中級 地方佐 地の中級 地方佐 小部 近 質 (単元音) 小部 (単元音) 小部 (単元音) ・一部 (世元音) 同一同一步少吃一中村一颗天明五吧四一步少吃一种村一颗天明

恒維 (長財縣)

甌江上流に敵前上陸

分余姚縣城を占置した職を協所に撃滅け二日午後七時十 であった我が市神部隊は途中の項目の水路を利して西国家つぶけつ

餘姚縣城を屠る

等の部隊戦巣をはかるに凌駕する

首相パリ着

福建掃蕩戦

施設費附議食糧增產應急 一年後五時後に可能版を撃取、夏に 地上加二キロの順島山下に顔前上 万なる職職に對して密接なる勝

獨の鋭鋒、地中海へ

孤局化比戰々兢々

ロンドン特電【廿三日

軍航空部隊は廿二日一鷹に活動 報道部廿四日愛表―中支にある海 報道部廿四日同盟] 中支艦隊

仰げ護國の神靈誓へ銃後奉公

日6判・二五四頁・寫眞 「葉・蘸洒装・定價一円大〇錢・送料十二

QQ・二個遊傳トッメホマーディップシマルデ

避難および十字火を受け配職機関が手書く整発するにおよんで自ら醍醐が要項手として罷職中でも批談なる概念を象げた極概が、晋東作職が沿領附近の職域には右角一蹴中感受として銀海山、勢ケ峰の戦職を影像、飛いて戦勝山の頭敵に哭人追禰し(魔鬼歌、魔鬼歌)及び凝沸い戯世で慰戯濫職・いづれも忽き奥命の懸乱となつた彰士で博放展大応をはじめ長期中感長として、今回の行戦は 昭和十二年七月十日より 同十五年四月十九日までの間に主として北支(山西郷、神光賞)中支(郷土江嶺、大田東)

的打撃を興へ越大なる戦鬼を収め

希國民の憤激頂點

會改組案成る物價對策審議

殿観器けにお互の

弟 衛端 四 金二 報送 土風の愛 海州学館

ンドレ・モロア作 大野俊一譯

第第第第 六五四二一 卷卷卷卷

を 自然美論・散文詩をの他 紫科士鏡を 文 藝 評論(下) 三個公鏡を 文 藝 評論(下) 三個公鏡を 文 藝 評論(上) 能電製外を 佛 蘭 西 文 學 史 寫慮辨入を 俳 蘭西古典悲劇研究序説 想将合列

佛蘭西文藝印象記佛蘭西印象記

「なくてはならぬ部分」

精進と誠實との形見

玉般についても取扱よと その根本となるべき經 の根本となるべき經 の根本となるが、 での根本となるが、 でのまたが、 でのまでが、 でのまでが、 でのまでが、 でのまでが、 でのまでが、 でのまが、 でのまが、 でのまが、 でのまが、 でのまが、 でのまが、 でのまが、 でのま

小林龍雄 佐藤輝夫西條八十 日夏耿之介

ひかつ形人

ユトルム作

百自附)を休刊致します。 十五日は靖國神社臨時の十五日は靖國神社臨時

が、総川 私だけは担慰らが、総川 私だけは担慰らが、総川 私だけは担慰らが、総川 私だけは担慰らが、総川 福 に富山一石 から殿がこの通り光つ

化を塗り、他面下請放託の合理化を塗り、他面下請放託の合理

本 会社になり、 ・ 本 会社になり、 ・ 会はなり、 ・ 会はなり、

全六卷

人||

宗開港愈よ

については腐てより口悩みとなつてゐる東 機器市側の帰帳かる 機構を逆に簡易化するため整臓が阻害されて 名の幹事があり運用上番議會は少數の委員の

新庄嘉章 編纂

畏し 聖上御親拜 警恩に接して、時間に對する ついては、ことに変言を費す

五月號定質十銭 民政治力の結成へ議論を認

何に熱烈に經濟新體制樹立に期待してゐるかは全篇に漲る。要求する。直接勞務の管理に當る人々、また勞務者諸氏が如產報運動への深き反省は各々の職場より積極的方策の確立を

矢部 周

動労の尊貴とで原因難嫌的男に産報運動維持の原因難嫌砂野に

勤勞者尊重繁農 円 岩男

座報改革の素描葉頭村越喜一郎

日本留學生の巡

設途上。條件

ーノ二町幸内區町麹市京東 番三〇六七一京 東は 振

に於ける彈

利堅是正三武之四。此山鄭男郎雄巖即松

規代人の生き方(獣鼬)浅野鬼

海洋の大發電所渡路

| 田田隆|

發當 表選

园

梅記鳥

渥

榊山潤

可。

座談會

(俳)(句)

雄

田上熊 《 陵下谷 雅喜幸宜龜 誠二邦次 祐城溫

林檎と専

特輯職場よりの提議

が叫ばれるに至ったが、この 配組合を将那単位の大組合ににおいて京畿道知事より 今回開催された各道知事

預金部資金要求 答職合曹長を訪へば次の15つよある、右につき松

が歌金の流行を積極的に行ふべく。車で東上、五月十四日電魔代の書。生する場合も強制して、企業監験を験を合置では農業年厳万職(二千九日午後十時11千分月家簽別・配給する現象の繋ぎと相常開きを 金組の生擴資金の計畫

「元山」 朝都新設の厳台定期航路は回航戦策な(五・二〇〇トン) 臺灣航路一船 五日その第一船として消蝕よ

響を進めてゐるが、低金利で鼠 2得るやう低利賣金の供給を印

北賦方面よらはミールのほか総指 り跳道線〇〇トンである、而して

ぎ、これに自己資金を合せて貸出

る特殊準備が担當者属されること

の間に喰び減びなきやう萬全を 在目すべきは、朝賦におけ

o、これに割し

ご歌よりは石炭・一1、頻鮮の地土含泉研養は國家的して、駅出の職員至于を場合に

「大を属する」で表演で、

「大を減する。

・ これに割し

ご歌まりは石炭・一1、頻鮮の地土含泉研奏は國家的して、駅出の職員至于を場合に

「大を減する」である。

「大を減する」である。

・ これに割し

・ これに割り

・ これに割り

・ これに割り

・ これに割り

・ これに割り

・ これに割 って西丁相談所の現機構を再編成 内定をみたので、これが決定をま 各一萬圓宛の補助を受けることに

鴨電の資金計畫 五億圓目標で調達

の社債養行限度一蹴闘を見返りと

平元碳融線を終へて廿二日午後再

人見朝無會長談

港工事進揚状況間に同社営館の撃氏は衛舎朝賦ホテルで永興艦の築

種苗協會創

圏につき左の如く語った

園の残り二千萬園と、増高によ

盟が構込を徴收すると同時に現在

計畫は進捗

十九年度に至る所型鉛金を大概五一六年度より十九年度に至る四ケ年間線江水電の資金計畫については一五百萬間は借入金のであるが、十 戦である、**脳ち十五年末において** 前借および搬込資金によってこれ 第三頭(觸安)四千萬圓、合計五 は毎年八千萬間強を投する意向で ある、八保田常かは過酸來東上寅る社館前借りによつて賄の方針で 借退加二千萬國は容認されるもの 資金前に関電への搬込資金につ 解を求めたが大體本年度の社員前

nの概要を開催、廿四日には職合

組合脈合曹々職室で、各道

増資ご社債前借ご並行

朝金聯總會

月廿四日開催

温識を開き提案事項の警戒を行

題風と押へることにより一

中小商工業に關する座談會 Φ 合體長はこれが辨關のため一萬凱(内、膠込膏金一像閩、大干「闡填膏)によって崔羊二千五日爲しはずで目下指編中である。ととなったので、松本金融||御穀せる建設賣金は「蠍公千五日 | 中の暗線豊資(斡藏南航にて一螺)でも類似より能儀制悟り、ととなったので、松本金融||御穀せる建設賣金は「蠍公千五日 | 中の暗線豊資(斡藏南航にて一螺)でも類似より能機和である 中の暗線増資(縦溝両社にて一億 あるわけであります、でこれらの が状で、現在それらの者は皆遊んで 方 ても興風より社債前借りを受ける

れることとなったので、松本金融

本金聯會長出席 全國産組大會へ松

明年 においては左程親出案 小嶺西とか穀粉高とかいふやうな 人等は毎日のやうに私の方に來て 感してゐるといるやうに見た方が

| 図のことについて重調性になっ | り寄せて破弾するといふ方法をと | たことにないといふやうなお載での日 | 図下相談所の方では代 | しいものが出来たら直ぐれる東 | はない、戦の上がらいつても大し

質は私の方で昨年の十一月に業績

奢侈品禁止令公布以後

要轉失業者は

のお話を承つてをりますと

国原 質は私の方に常設の代

最細工のものをステンレースにす

といふのは昨年の例の著名品禁止

▲目時 四月八日

▲開門 京城市テルにて
▲開門 京城市テルにて
▲田郡岩

中医書! 良(不仮理! 画報)
日村 港の報節調整(4)
日本 社 (4)
日本 日本 社 (4)
日本 社 (4)
日本 日本 日本 (4)
日本 日本 日本 (4)
日本 日本 (4)
日本 日本 (4)
日本 日本 (4)
日本 (4)
日本 日本 (4)
日本

て置ふ必要があると思ふのであり

呼 うにもかうにも動きがとれなとい で うにもかうにも動きがとれなとと が 製者はなんとかじて製造が維持し で正直なところ組合に入つてゐる

な状態でありますので今の新

菅原

部翼上地つて來ると

農地の衝質に就いて

甲野型

津久并龍雄

松田平助

・
払れた

変展工業はより

資産の可能性があ 従って半島工製品の製外貿易

傾向論ごして漸次有力ごなる 器、砂糖、木材、米等の移入が期 力質が繁者と本所心に在城貿易協会の日景域路線で開かれた神戸有 朝鮮が好適輸出家庭工業 吉村榮左了門商店 朝取証券取3 漫 が報告証何場 に 薬に付ては昭和十六年二月十八日 田・事報所を受ければなりません、総 田・事報所を受ければなりません、総 のでは、 すか又は全然機関することが、 がですりを対している。 がでする。 がでる。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでる

による地價ある農地は自由

田番の價格に就て

田畓の價格に付左記の節

係されてゐる

安一談會の際上、神戸順智易奏者よりと一般者との對外貿易振興に関する窓 今回の心然の結果にもとづき半島)を振興して関係者の注目を急いた設置の際上、神戸順置景製者より。進には多大の即然がかけられる言 四、六月分石油割當

搬はれることとなったものである

時農地館格統制令の施行年月日「所に御尚合さ下さい」

出番の現在園質は坪倉港らで

設立準備委員會朝鮮石油統制會社

近衞内閣の變異――變異 の性格 革新の革新 一新體制の再出發 ヨオロツハ戦と日本

般需要は特に抑壓 漁業用重油優先割當

一、朝鮮における軍器關係用は優一みで削立するに決定し、來る廿六 柳)を資本金二百萬圓、全旗棚込 肝燃料課で検討中であつたが、

昌定政策に順権

(沙里院) (京城) 光山龍

革新陣營の精英、江口五郎 日頭を語る『山浦貫』

宮人々・青木六郎

井次長に御手洗

刊後の市況

華 墨 墨

結果左記諸氏が當進した、なほ常

日間にはいる。 の限さなによる新 関コンツエルンの 要本際成が全まる 世間の数に抗し豊 すして百骸の働能

「好みをつづけてゐる所以は▲ がその鼠の中に超然として野

際業の保護なきものが四十四名、 warmand たとの組制でありますが最も酷いのが毅然の販産業者で、

休楽中が八名、それから菓子

に感覚を除民なくされてゐるとい ペン類の業者が卅六名といふやう

太太秀 秀

帆足圖南次

藝フランスの断末魔・ラランクフルト紙文 東洋の潜夫帆足萬里・帆足圖南次 えりにという。 受信之

非常影響。 煩 瑣

獨英決戦とバ リカの勞 働争議・政経研究會▼立憲政治への過度│安藏 カン・聽濤 克巴▼政治學の新しい課題 五十嵐

海新秩序。現狀排 西路 政治今日。要望展場 ンフレの新對策一場

内閣改造。意義 [篇井婁] 階五ルビ丸前驛京東

みささ —三宅周太郎

俳句の五十年·高濱北越農民の勞苦·島木 人学のために ・除村吉太郎

魚一群瑞事一

如草園 異 變—安騎東區 村風 大樓 (註 圖歌) 村風 異變—安騎東野

豐號規戶

村松梢風 山口諭助

企工性論"松原正樹

木原道雄

和用日出言

方面から異常の注目を搬はれてる

が組合主義を是とする傾向は耐吹いの回答をなした模様であるが、

五年度の物動決定數学よりは澎
なものと見られるに至ったが、十

、 開発は水電水響タルの完成に、日中央名前は隔景相台によって将上ので湖水化され、花は変動館、水砂栗変質を貼き、焼の窓子で見続ないたらなくなるが、の地手輝きにつき節節十つという。 日中央石油販賣業組合におい

商工相談所擴充

二十五日に開催常設經濟懇話會

愈よ具體化準備

華城金組【水原】戦城金を開催した

瀬田、馬場清州煙草の神様 張所主任着任

開城の市計進捗

關係者の時局認識で安協なる

家屋取壌工事に着手

動はゆ 殉職二

一警察官

を像顔し、関係者五十名に劉す、収離に移職については相當の困

平澤校の感激 御眞影奉戴式舉行

前十時派示室に各町職の理事、開城】繁祭署衛生像では廿二日

西本、大和、大平町 同十日▲高麗、湖月町 同十日▲高麗、湖月町 同十

冉度の目標見事突破 七十萬に迫る

郷力陣坡州郡に凱歌 **真乾校後援者** 盲目

の鍼灸師

重なる赤誠の献金

車をかけてゐる

【開城】開營部下の十六年度 開豐の春蠶

新府發展を期す 成田新任府水登浦出張所長 町會問題を一くさり

つた面書記信賴を裏切

野生化の容解あつて新り

逃るな、この期 强制種痘を實施 開城署府民へ嚴達

製造實元元

THE REPORT OF THE PROPERTY OF







院参議に



合、一丸とした新菱明です。 かんした新菱明です。 ない、ことを全理的に新油と、パースとを全理的に新油と、パースとを全理的に新油を、パースを増進所の五十倍によった。

という。 月經を調整するで共 に、月經前後の不快症狀を に、月經前後の不快症狀を に、月經前後の不快症狀を に、月經前後の不快症状を は、1000年に、 1000年に 1000年に

をのんで下さい毎日コンビター

A+=+0+0=00

子供の發育をグンく~と進











0

みよ

様な小粒

T,

1

ホルモン

優良耕作者を表彰







一良栗五拾銭分

なり山本山京で野軽に治暦出来るの優秀なる原楽を映りかれた。

温閣

小 東 大 朝 東 東

眩暈、

肢端知覺異常に

西北山 治療を日本

男

用ひて分泌量を増加せしむ解消す。又乳汁分泌不足に更年期障碍竝に老衰現象を 本側は女性ホルモン外用側にして皮膚の地貌・指拳角や底、面で皮膚の地貌・指拳角や底、面で皮膚の地貌・指拳角や底。面で皮膚の地貌・指拳角や底。面 (月) 經不順、月經過多 (頭) 痛、耳鳴り、疲勞 後の下腹痛・腰痛・・・・ オバホルモンバスタ

四肢・腰部冷蔵·····

疱・指掌角化症に

41(1)175

中本平 店商衛兵新頭小 監督 卓理代票員 ★ 神具大 協商衛兵是田武 監督 元素展产

数な休力を確保するために 親な休力を確保するために 親な休力を確保するために 現場検質を改造頭化するために 現場大力を確保するために

オパホルモン 育 単 位 (2017年) (20

今の過勞、病後の心身依 齢期の睡眠障碍、腰痛 能率低下、記憶力減退し期の頭痛、倦怠感

老

食然减退に

後促進に

赤血球を増加し、新陳代謝ン製剤にして、血色素敷・一本剤は純正强力男性ホルモ

による諸症狀を輕快ならし 賦活して男性ホルモン不足 をたかめ衰弱せる路臓器を 動を活潑ならしむ。 め、以て精神的・肉体的活

「個價格」 「の鍵(公円達0) 第6鍵(〈円達3) 100鏡(1×円)

ホルモン

毎食後服用する | 日 | 回 | 一回 | 一回 | 一回 | 日 | 回 | 日 | 回 |

青物商總會

の心配解消

急性まん

山の戰士表彰

増産へ鑛聯邁進

鄉軍素砂分會

切ったととちやないか々と配者関けてクおいタベコだよ、判り関すれば今井所辰が横から水を

仁川府の立候補五里霧中の

富川郡は既に二名 **帰されるものと像想されるが、**

米業元村常一程場

優勝を土産に 平壤軍凱旋

て來るが、去る廿一日佛悠徹遊城一一階から落らて大陸我をなした汗華」語識離は日一日と離となっ一わぎで手をくくられたまへ歌走

人蔘栽培好成績 六年生根採取十萬六千餘斤

豐島慘部補榮轉 「開城」專賣局主催十五年人廖寶









定員の一倍 (同上) 五名で候補するなど上野城郡(定員一名)七名、豫安 【権州】 黄神道の道

五名の超過

一名出馬取消

友邦へ、緑の親善使節、

原因は神棚の簡明が燃え移ったも

は第四日 廿九の金町を ねら & 原用道職職は定 はこれらを原用道職職は定

南全

各郡とり出馬

断然新人が多数

定員の倍突破、四十九名

よ際観となったが、官選を見込み

公主館として呼ばる西水縁(威北県郡)の「成北」日ノ國屬の極近く、その苔川県西比 北鮮ザクラと命名 由稲の「石割櫻」は新種と決定 ちかく天然記念物にも指定

とよばれることとなった、極木博士の書篇左の通り 度教授植木秀幹博士から今殿齋藤氏に知ら

て卅三萬市民の最大願心をあ

清津新市街地

國民服は五十圓迄

行過ぎの新調氣運ご値段に斷

清津經警、案を練る

を
文映
し天島山
以西のいはゆる
【清郎】 飛躍途上にある
清郎の
置

一般町等は昨日の田園が今日は住一般の準備を進めてある

金塊

ならぬ茶釜

と土器

撒すべく同係官は大量の活動の結

職職を掘り行き過ぎの歴史服

新聞代を四十個内外に引き戻すべ

労務を先決 土建鑛山の

【大印】各親は曹親長曹親から開

一省本部長、阿川地區本部長は 名駅席)面に各種係機関の

め分層代表版議員五十三名へうち

金鑛屋さんの鶴嘴に石の洞窟

第二日の二十二日午前九時、開曾

五族協和の家族會 安東で華々しく開幕 元八氏、劉朝彦弟左知氏、曹昌臣、徳進北六氏、秦郎勝長へそれら元八氏、劉朝彦弟左初氏、曹昌臣、徳進北六氏、郷司寺宮、文孙武明縣司寺宮、安が武明縣司寺宮、安が武明縣司寺宮、大が成書

叺の値上げ要望 協和會安東市聯合腳議會 協和聯合協議會第二日

断奪では地元一部官誌との勝刀の四名で組織されてゐる新義州貨 【新義州】府内臨店館の有志

半山の叺のこ

出る

一學を言品として注目されてゐる

れてゐる、右蒙地品は近く斯界さ

朝窒從業員に嬉しい朗報 家族手當 自然になり目標

製造電

成だがはいよい

型上げられ に難脳をさがして方々發掘をつぶ 一般ならぬ んてむけ数年申から附近一帯の山

直徑一尺五寸の古代日

るが目下治代の設置、楠の番種野

紙會社設立新義州に製 戻することになった

 「内」 最新過と扱に本格的版
 「内」 最新過と扱に本格的版
 「内」 ま双氏(新)は勝然する説ぐ一方、これが修出新叩え申とした。
 「力」とから必然得道を取けません。 使ーさきに吉林省では咸南道重ノ成成の支利衛州國へ幣る機の銀鉱 今春道城用部木の注文を寄せて來ニレ五十萬本及び朝鮮松一萬本の **咸南から苗木五十一萬本** 一ので廿日一湾に南場終由で 合として山城丸を配してゐるが「海軍」山下河船では北賊定期 着は廿八日、同酸は翌廿九日で機骸に儲着する、なは同船の清 北鮮定期航路 名は、双神、門司、職難に 日院位のうく鷹跡、大阪を く確処だるもの

奇勝して調単に到着、後航には清

出火、屋根その他を爆失して同十

亞麻工場小火 【威夷】

一億の民草が火の

【清津】一億の職器はまづ郎根裁一うやら、「佛作つて導入れず」の歌

つくらば魂る 常會に虎の卷を要望

弗萬百二費作製 年ケ五數日作製 名干五員人場出

え無もで獣がえ でるまア俺一ア俺 恰不にえてみ間人の界世月 な高崇す刺を骨恨痛 ! だ好 語物の美劇悲情人る

般

開始が 東真機と材料版。

雜

電

計 野物もり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり

畵 映 用

對貨

はの方のは映画を呈する。
家園田園立
宮田田本園一〇五七番

京、原義通り議事側の上四へ

F水

住 名家の歌白風谷 た方とは準勝を呈す 那光 10七人丸月間店

和

お着情報である。

汞

古

签山1 世二日午後二時四十五分

釜山の火事

単位の

電照を機械材料

大地 場に関する

喧III. 材料

美

京城本地二中井明人る京城本地二中井明人る

京日条内の影像市込む電本人五京日条内の影像市込む電本人五

社

員器

(記) 巻一(配) 日目京城

北京城份政記者北戰國家出者國視察日程





・ムアリイウ 才鬼 督監レータイデ

ネ



















特别案内

がまた。 ・ 大店員募集 大選・ 大選・ 高 會

方太平通二丁目費の四平谷へか土取平地毛地に通ずれまり、対の関係の中間

女事務員採用 京城支店店

建築設計画採用 朝鮮建物等會社

女事務員採用
を認定は関連に含べ、大学務員採用
を認定は関連に含べ、大学務員採用
を認定は関連に含べ、大学務会に関連に含べ、大学務会に関連に含べ、大学務会に 電本・二八九番

九名の超過

個林東器氏(新)長水 公園氏(元)世二日は图

强力脱脂 洗淨剤

からといよことになしより撃、國南軍その他関係がしないので結局五とり撃、國南軍その他関係が行わる、な民四月があって、本村部職員数部が行わる、な民四月

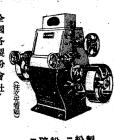
立創OKR 作大の來以 優俳格性の指風界世 ントーロ・スルーヤチ ラハオ・ンリーモ 花名 優名の賞ーミデカア 演主ルエチッミ・スマト

田

館約契映上 話 奋 爺 箭 后 光州 平帝喜大キ相愛大明 東喜明元裡東帝 費樂 大線
劇
劇
調
調
調
部
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第
第<br/ 寶劇

贄大和劇! 地方は白台御道知例氏見本符號。地方は白台御道知例氏見本符號。地方は白台御道知例氏見本符號。 京日案内





二碎粉 二粉製

達

發 新 製品

公益優先またシテム変製的・蕎麦・ 純白ノ製

公債·社債·株式

本店 大阪市東區本町二丁目

出張所 福岡・天神町 二六東京・有樂町東日館

名古屋市中區廣小路通六丁目三 東京市麴町區內幸町二ノ 大阪市北區宗是町

平塚市平塚新宿九八三

人絹子・プルファイバー・右線絹糸絹布・加工絹布・主糸 綿糸。綿布·加工綿布

京藝店 京城府永堂浦町 營業所 神戸市林田區御崎町 東京市白島區隅田町

| 食社 大阪屋西店

公社債株式業務一般 大阪市東區北久太郎町二丁目 受信略語オサカカブクロカウ 電話船場(代表)一八番

セフランス本舗出版部 問題の機能である(電話前三四五音)

阪商事株式會社

滿洲大商證券株式會社

支店 東京市日本橋區江戸橋一丁目本 店 一天阪市東區 高麗橋三丁目

三百名限り「部無代進星、ハガキでスグート競)病者に限り「部無代進星、ハガキでスグ

會社 黑川 商店

公社債株式賣買

派遣地四縣視察談 鱩

(脅迫変を送り、千五百圓の身代
大院少年をタネに『白骨骸』の名

懲役一年六月を求刑、診破しは三

一名

下平南生れ李英شつと一時であ京城県石町京

り氏名不能でした歌の崖崩

「祓禊の獎勵」好評

各方面から寄贈の申込み

れが道場の建設さへ計量されてる。比略、全戦指導者に配布し近くこ る平易な解説書を二萬五千部ほど 役一年六ヶ月『白骨團』へ懲

極 悪

は昨年九州各縣において非

一般にわたる粒一ヶ月

女子部隊

・ 改善増配に努力し幣作成額を設な 良者を表彰 原料人夢の 人参増産優 駆費品では

返禮を献金京城馬町朝一

く既に小朋子。破役の襲動」と聴す一るが、今回内地の改組大政緊負管で「破役」の漸進的皆及を聞るべ、れが道場の健設さへ計算されてあ 日本繊維の體得、皇民錬成の催一

と代表竹原出版君が否幹を述べ、 する、立派に巡拝してまるりま

一 「石、もう田豆はつてゐる

海中、同店の板場学園園地内御覧三丁目の餃店棚内御覧三丁目の餃店棚

心酸る鯱るの影響とな

学童ら時の壯途へ

n置に呼順して京畿道職だけの 関道では本年度の青年訓練所設

大学さんの實身学内現 大学さんの實身学内現 大学さんの

不具限中 市聖中土博学區 所提中土博学區 所以中川縣的大門寬度財場於 在九六二 ⑧ 門化光 計範

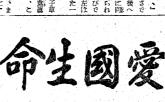
ぜの戦慄

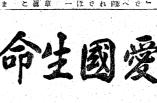
昭和十六年四月 株式 會毗右之通峽也

この職弟の登に取得い祭果によって確ぎ込

だ三時間しか經つてないのによる。同時間社の協真は早いなあ、ま

がすでに出来上つてゐたので、



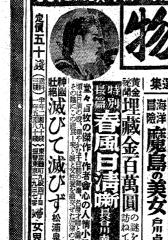


は跳台器と励力似人概となったものらしく加

土幕村燒く 新集あの見込みで引収さ ・ 世 二日釜田楽山府 郷田 にデチ(こ)の郷時計 郷田 にデチ(こ)の郷時計

が東登さん万億突襲口、八時四十分ごろ京城新 幕十一戸を 聞いて 同

推物讀作傑・朗明・



御五方の陵墓

確即是蹟

'n

プにも公定價

ほか映畵入場料、理髪、入浴等

信、褒孝、管地、理愛、新愛、| 來とかくの際のあつた劔孝王、殿| では野喜、| 身元動音、愛北阪湾、旅韻、下| 郷削に蓋納金の調査に乗り出しを| 國際標本な錯感游古、土木、建築、代書、| 郷削に蓋納金の調査に乗り出しを| 國際標本な難感が古、土木、建築、代書、| 郷削に蓋納金の調査に乗り出して各機| のだから) 動車・自磐車・特別・

個俗様々である。この外央実後開

明るくなる我らの生活

を意味するものである。右についてビショップ網事

取、部代などと本格的な農

DKから放送

2では女子をして将來記洛生 | 興へて貼行曹を開くことになって | 『農物印度村務略・を放発記』 「農繁期農村 と放金属定者は次の通り

講座



露店商に手入れ

「あかつき』で同三時九十分一路「らは瀬戸物、郷糸、ゴム歌館が大」て眨彩の生苗を勝るはずいなど重重楽歌観「行は解説がテラ」に感じ手入れした極麗作数は郷路、石吹の歌の関係で原置してあたもの歌んな歌題、行は解説が大ラ」に感じ手入れした極麗作数は郷路、石吹の歌の関係で原置してあたものなどを表現していません。 東大は関連教徒郷路、石吹の歌の関係で原置してあたものでの定くができません。 東大は関連教練派のは「歌分で向れまれれ、選上関係表示しなかっき」で同三時九十分一路「らは瀬戸物、瀬糸、ゴム歌館が大」て に彩の生苗を勝るはず 兩署で九十名檢學

案外開けぬ資金の道 住宅難緩和に 一つの癌

の李は再三復縁を辿つ

絶好な砲撃日和

べた。燃え上る烙、びつくり 帽子の片面が物濃く廃けて

青空の下にくつきりご稜線

山西戰線 文•田中三省上等兵(鞣)

繪·鈴木 博上等兵 (聯)

になった。

異氣の占領する處となってし

進むすべ

翼ん中に腐る仕切って火る。た神經を励った。

實際一時間と終たのうちに

三月十五日 明け成と

々と立ち去った。またやって來る

ふの天氣 時々睛

京城新室町響ヶ丘磯田墨俊へ一城池響から端まれて墨校の窓路生田用心・廿二日午後二時一廿五歳位の大丁島の男が訪れ 學校を荒す 悪辣極まる三人

と聞きするというないなると聞き

と溶け込むと溶け込む

たやうな自然の風景ではな

敵から猛然な射撃を喰った



カルシウムを奥へるの豪養さして燐及び ピオカルクはこの目 事が根本的な療法さ 速に生活の重點が移 柄が多い爲。兎角精 ます。之には脳肺經 岬の彼券をきたもあ のが原因と云はれ

剤ムウシルカ酸燐正性ドイロコ 町修道區東 汲大 社會式株築製 F10コ 元資發造製



大西郷の精神頭山瀬のおれて松岡洋石 震災が重弾氏と流気の美女の見りを調が一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 三十一頁講座

有權者各位
水原郡內有志一同

有者今回改選の京畿道會議員候補者として 最過信と認め推薦政候に付阿卒同君の為め 開始信と認め推薦政候に付阿卒同君の為め 明朝十分四月十日 「養名 金 教 益)

祉

暗さ込んだが一向け取 脈けつけた救急車で赤

合併二付異議中述公告第一十十三年

朝鮮中央無盡株式會社

鑛業 株式

會 社

何故必要か

職類、慰慰等で、戦闘に際しての

本の段階化に深い関心を持たねは

化の威力で決す

たり」といる自然的感激をもつことだと思ひます 次に何を實践すべきかは一個関

れについては農林営局も賦内生したことも影響してをります。

兎解無頓着になり易い精神鍛錬

人と歌奏を撃して、人と歌奏を撃して、しています。なられた生きることであります。既ちての振りくを生かすことであり

てからの牧養

内地物が少くなつた譯

忠實これ實践

龙

の建設は日に月に目続しい成熟の建設は日に月に目続しい成熟を取めつ、ある時、駐車の飲ぎを成めて、ある時、駐車の飲ぎを成び、歌烈の設整に割しまつり、ひからなる歌訓を都げ衰縮を断定さればなられ、同時に現る

物四十八パーセントでありますが一緒へて自然移入が切くなつたもの」して何等徹実にない講です「世内地切五十二パーセント、戦内」すから、さうなつた場合の決議を「すから、最高層数の破骸内で、とったり、また寒歌、易い物で「ては一定の利潤が失まってを | 中央ソト、戦内物|| 千九パーセン | とつても無地だと思ふ縁な安僧な | 窓) | 昭和十五年度には内地物六十一パ | で、現在の公定僧には生産者戦に | 中央 では一定の利潤が失まってを与ま、びを繋げるものはありますまい。 「おりもあり、解診過程に改訂して「平安と繋び」を得さった。のいに示えて「一門)生化大きを開催、在《代職 を前側的は作買人、小機能に関し これを繋載すること機能を力・器。以上の一言をが出版、同己止牛か では一定の利潤が失まってを与ま、びを繋ずるものはありますまい。 「いまれて、然し現在の だしょう 描さら大きの心に示えて 一門)生化大きを開催、在《代職 では一定の利潤が失まってを与ま、びを繋び」を得たい、それには、を行ふことになったが、併せて勇

このために信仰をもつといふこと

一般が上るにつけて一

一のよう方にこの場所人。まず、順くは必様の前生を紹子を上の当まである。悪びあれた部のは七期さますといふことであります。順に

新女性ホ

ŧ

ギナンカプセル

京城地方法院

日日小子京城府祭町豊富地人田中郷三へ昭村拾五年五へ(浸史)出光興産は式會

登記公告

マニー代、四十代、五十代の女性、なはちこれを、着い方は勿論、 このギナンカアセルの検討で、すの 部師でない事でありまして、すの 部師でない事、高い方は勿論、 にないない。

販賣元 友田合資會社 東京市日本選匹本町三ノ三

聴ひます、それ改お客に接するに

九・四〇 初歩鸚鵡灘座 蔵 乗業

六・OO (大) 連續刺僕らの研究 日記 (四月の答) IO(東)西工業の時間 IO ニュース深象連報 ・清事)

明日のききもの

絹セルばかり

大・二〇(東)シンプ 大阪理科 新IO·00(感 沒

崖

二・四〇(東)鬱像の歐洲よりで配外田敷迎大雪よりコート四〇(東)鬱像の歐洲よりで発達とおける 年後の・の五、整営・太田道羅ック・の五(東)六大學町様リーグ 駅田・旭柳の・八大学町様リーグ

野血を去る!

ニュース

らす悪より他にありません

八・〇五(東)講談《森祖仙》

山萬七京城府新堂町三六年四月九日左ノ耆駅海新漁業組合中央管理

義主點重のへ療治 **ふ與に耗消・血貧**

ネオ プルトー 七来 (look がアヤコールブルトーゼ (look) 別 別 現 血 電 壮卿 (look) また (l 林式會社 藤 澤 友 吉 商 店 ヨードブルトーゼ (MOD) アルゼンプルトーゼ (MODE)神経諸症 皮膚疾患治療剤 が ル ト ー 条性慢性質血諸症治療剤 キナブルトーゼ(MORL ti moori

を補ひ、赤血球、血色素のを補ひ、赤血球、血色素の形成を亢進し且つ新陳代謝形成を亢進し且つ新陳代謝形成を配合劑と相俟つて最も有效配合劑と相俟つて最も有效配合劑と相俟つて最も有效配合劑と相俟つて最も有效なる榮養と治療兩全の使命達成を期待される 強補壯血 唯一の 二、消化吸收も容易 消化性鐵蛋白劑 胃腐を障碍せず

れる ブルトーゼは生命活動の根元たる人体肝臓成分 動の根元たる人体肝臓成分 で一般戯剤であつ で一般戯剤であつ 試むべきは臀家の常識とさ 碍と体力の消耗に鐵療法を疾病の治療上まづ貧血性障 腺病質・結核を始め凡ゆる

職が関係では、 のでは、 の

八・四〇 (東) 戦地での見聞の中から ハ・五〇(大) 浪化 節大面 政務 「三萬 「順債」 | 曾旦利 | 歩し 「三萬 「順債」 | 曾旦利 | 歩し

顔の問題

朝の部 廿五日

場が新堂町巻七巻番地ノ豊か町村拾六年巻月雲拾日住地の町大瀬町二丁目町番地

七ノ住所ヲ申請循訳式曾址史止及變更

ョリ氏名ヲ城平金傷トへ昭和拾五年番月町拾

| 一個日本保護の | 一日日本保護の | 一日本保護の | 一日本の | 一 丁里町九六六番地二移の月町拾五日事務所ヲ上業組合事務所移轉

O朝鮮紡綱工業組合變更 昭和台 大年差月委拾雲山東在出資總印數 大年差月委拾雲山東在出資總印數 職繁登記公告

生参月六日』ノ親ニ付 が発記公告中二行目 の実登記公告中二行目 の実登記公告中二行目



電の職場的な機械化の概

によって決せら

一般想

簡をお敬へ下さい 満洲旅行(目的求職)の手 室話談 合成樹

開語は必要ありませんが、或る

尽城地方法院 業登記公告

各帝大病院常備藥 BLUTOSE

株式會社 滿洲 縣 澤 友吉 商店

重要諸案件爼上

議會事知例定

堂々諸暨に入城する羽鳥部隊―電送

相呼應して猛進撃中

以下杉山、两尾、本田、百武、

天皇陛下親臨 天長節 觀兵式 來る廿九日代々木原頭の盛儀

銀する元度高齢を式は來るこれ人々尤用難に吹て著兵指書話、に参加する光祭の蕭非家は生意が照隣的別の宗符を中郊に置、五皇孫下の娘職を仰ぎ続う。に野行されるが、時れの歌語で深見時間、聖職の無窮を籌・十九旦天母の佳節に、畏くる(開柴四郎中将指揮の下に深入)

には一路即十五分に配って艶の心が増する陸数をが、第二十五分に配って艶いを決定した、第二十五皇際下と決定した、第二十五皇際のが増する陸数が五百段の

に関する泉透し

英殘軍、進退窮る

| ローマは二日同盟 常様に奉し アテネを貯出、クレス勘に率と 左側線によればギリシャ 郷エゲオ | 左上隅へられる | ルギオス二低は、ナモニー

機の東岸に無敵に

敵の牙城穿山を占領

残敵掃蕩戦石浦周邊の

地は食地の整股に 打つて明潮帯に放揮してある 作したアテネ情報に 打つて明潮帯に放揮してある 昨日の敵けぶの友

獨希將軍劇的の調印

一のがあるといはれる、なは英希臘

新州より洛陽へ らは、踏破して 家上流へ二八

時の録音

し、六人の守将 河と大学に ・ 五月號 ▲ 村學者の妻として、 第本衛門主人妻を贈る言葉、 協同語や子本語の子園に学作るか(原際院を本) 「新聞語や子本語の子」の「新聞語を子本」の「「新聞語を子本」の「「新聞語を子本」の「「新聞語を子本」の「「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、「新聞語を表して、」という。 ▲子供の村村長平田のぶ女史諸闘 ▲花の少年戦車長を訪る人間の大き 三笠宮殿下の御めでたき御婚約 の指導を離れませる機能を持ちれる場の指導を離れませ、離れ法(森重) 晴な高木百合子姫の御事ども

希全軍、遂に降伏申入

一致で可決

ける線上閣議整響報告

のが表生。同元時五十五分歌作し 食糧増産施 設費 朝鮮は四百萬

近衛首相

色用量

講誌

て、一般のは、開羽は、

に約節。費服衣

・血と砂で度 馬のひづめに 馬のひづめに

的です。 大小七番

1F [486]

動!健康、買へよ國債、國民健康增 水に焼ってるた。 がはとしはやくも動びの日 ではたしない。 ではたりない。 ではたりない。 ではたりない。 ではならない。 ではならない。 ではならない。 ではならない。 ではならない。 製造機・ おる迫切實

賴點於榊原平八長最低生活必要線問答 南洋御巡錫の感激談を聽く入谷智子裏方を圍んで ▲だゞ『恵氏御野命先駆者の新聞美術・氏他感覺表さな明色々』・明遺▲展願願よく。本なよる、法院人開放式をうけた情長▲年間向戦

與於主願としての長所と親立へ一番をい病処とないか 女性・定義。戦十の結婚。 大性・定義、戦十の結婚。 大性・定義、戦十の結婚。 大性・定義、戦十の結婚。 大性・定義、戦十の結婚。 大性・定義、戦十の結婚。 大きのである。 大きのでなる。 大きのでる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでな。 大きのでな。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでなる。 大きのでな。 大きのでな。 大きの

花の

で学養のある卯の花料理 食主義で健康とうた名士の體験 弱児に良い学養雑炊ら代用食 雪

安宅彥三島工博

[3]

餘裕綽々たる日本

獨逸經濟使節團南下

學童代表參拜團發つ

に笑ふ

他田の甘東

~第卅部隊記念式

春の空巣ぐんご激増

狙れた文化住宅

水笠

產婦人科 医学博士 本证 茂

第一回

二十五日より



强力治淋劑 感菌类膜膜





割を突破

第三 第三 6 日 戦

背中と腹つお灸

看護役後藤さん歸任

高 ぜん息

風

血壓

●負けつづけ めんで 勝ちつづけ

四中堅作家日本儲新作展

廿七日まで三中井六階畵廊にて

所題「日本語」

爆来を順職したマキノ正母監督ので近頃にない面白い娯樂県動だと これは一度目の作品、長谷川一夫別目面もあつくな

日本語を当及共榮職の國

ルルカル 語のはんら 助の中へ飛込んで、例の題の構を

クロダ歯科

者を関はすこと多く、また多数勝勢者に人進の機會を迅せ 「京日開政」も日と火に鑑論に赴きつゝありますが、最近

京日俳壇、投稿家へ

の三百間聊致真作の史職「職な太」民能感「静脈」は甘塩、廿六、廿七一子と

五句以内に制限します

董寳藝術院第四四展 廿六日から三越五階で開催

表現する艦ញ線離職の駆動會よ今 | て姿る書で、田來るだけ時間に即して見るとが田來る歌心の世界を選わてれを遺霊的に | 観魔の蝿民撃後方郎、豫周却とし | さずがに時期日を見るとが田來る歌のの世界を選

新映畵紹介

監督は近く耐災が始のため便支す

家光と彦左 面白さを狙ふ物 もホロリとした味を出さうとしがまどろこしい、緑美させると 的たる情態教育の一助にしたいと いふことを停閉してゐるところに 質太郎脚凸監賞、吉見必男脳影で「怪空間它衆原作」英雄婦」 はんね

感々第二次信州ロケに赴いた、
な

學學、疑一即發展

年で四年の歴史を関ねて來たが、

○ ◆將軍と委謀と兵 日告 ○ ◆将軍と委隷とて悪難すであった 「一部職罪账蓋として悪難すであった 節構成、北村勉勢軍の脚本も勝 職職組子)幾代(內田專子) 順作「将軍と器駅と兵」

「オウお化、無単であつたか」

若存は、刀を一切によろめきり

0

五〇粒… 三円五十銭

第二十九號(四月二十五日封思)

かの美しい女房を

町一番町、岡州移住協會) (石月駅) 女生産業部(石月駅)女生産業部(石月駅) 女生産業部、男女兄下田駅区駅舎、乗り兄下田駅上職舎、男女兄下田の大河田・音彩工業舎、大洞里 東京

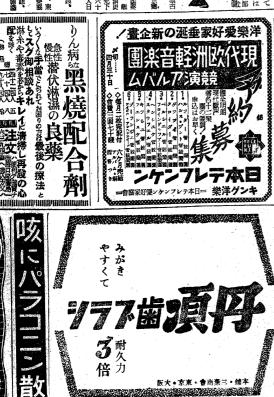
社報日城京

大連・柴田町、爾州公論吐)

(四月紀) (十獎、東京·魏町·三年町中央社會母業協會)

新刊紹介 がを失ってしまった。後継半四郎の若夫婦を助す。







直。

視めて拠得した相手は、

金 井蘆洲邁 公方

天婦の危難 のは全く電影的の働きでござい 助けを呼る壁が聞る

隨

筆

靖國

0

初めの間は、

昆布茶などを飲ん

た、隣層いろの宮のお島型がその

説い人だかり、荒い板の舞部には鉄堤りの小量の中には繋ずやうな

おもひのたわになるのである。

學

藝

を、スでは行 がつた。此以から片が

うら若い螺だちが索腕に織の胖天 | 見たくてたまらないものを、とら

へるつらさに思はず此息を残した。青年になる日のことである。

たら、それこそ酸を繋めずには居ってれたら、知つた友達にでも見られい

総金は一般域一 【編編=試影切す

随町一【東海―放影ガす

朴昌煥、白鹽椒、朴質行等全員

麻衣太子と樂浪公主

劇團高協が府民館に春の公演

製製公主」四幕五編で春の府

班產婦。 榮養:

E

領旗白レグ初生雛とバークシャー種豚分譲

特に早産・流産の防止に

隅を伴ひ易く、母鸞の荣養、胎見の發育、安定を組みルモンの産出を抑制するため、種々の繍人科的障と・ションの産出を抑制するため、種々の繍人科的障ビタミンBの飲乏は、脳下薬體前薬の機能を低下し げ、習慣性流産・早産等を招來すると間はれる。

安族を確保する繁地をつくるため、姙娠初期上

彦【書】

暮 實千代 (新生新派)

帶 P00 000 流行歌奏方しつかり杉狂 若き女流の天オノ 0

第一回作

に緒情町下いかいたあのほの情人たせさ綴點を愛人隣 が實谷澁才鬼く描 を界世 作心野る破を默沈の半年一



8 ● 夜行列車 sec. w

[175]

ーシンのなで頭の闘子を恢復する

